

| ホーム名：グループホーム アキラ | | | | | |
|--------------------|------|--|---|--|---|
| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 1階・2階リビングに理念「誰もが生き生きと生きていける地域での共生の市民生活」を掲示し、毎月の職員との会議の中で理念をベースにし日々のサービスに取り組んでいる。 | 地域密着型サービスの意義をふまえるという点から、昨年までの理念に「地域での」という表現を盛り込んだ。各リビングに掲示し、日頃から目にする事で再確認し、実践につなげるよう取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 定期的な清掃、防災訓練、しめ縄作り、餅つきなど、年間通して、地域の行事には入居者とともに参加させていただいています。散歩の時は地域の方に声かけしたりされたり挨拶をすることで、借りている畑での交流もあります。回覧板も入居者と一緒に地域の方に届けています。 | 自治会・老人会に加入し、行事には入居者と共に参加している。散歩や外出時には挨拶を交わし、地域の一住民として交流している。毎月1回、ボランティアの方が来訪し、傾聴・朗読・歌など色々な催しをして下さっている。 | 事業所独自の理念を掲げ、職員は日々目にする事で理念を共有している。今後も職員一人ひとりが実践に向け、取り組んでいかれたい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域づくり会議（3ヶ月に1回）参加して老人会、障害者事業所（児）PTAの方たちとの交流で認知症の人の理解を深めていただく努力をしています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、市職員・民生委員・区長・入居者・入居者ご家族事業所（管理者・職員・介護支援専門員）で2ヶ月に1回開催している。会議では意見交換し地域の行事などを聞かせていただき、ホーム側を見ていただき日常生活支援状況を説明してこれからのサービスの向上に生かしている。 | 市職員・地区民生委員・区長・入居者及びその家族（代表：1年輪番制）の参加を得、代表入居者の居室にて2ヶ月に1度開催されている。議題は、利用状況・活動報告・意見交換・質疑応答など。参加者の都合を聞き、次回の会議日をその場で決めている。 | 土曜日にも拘らず市の職員が会議に参加して下さるのは、有り難い事である。今後は、1家族に固定せず多くの家族が出席出来る方向に転換し、会議場所も2階の廊下を利用するなど、趣向を変えて取り組んでみては如何か。他地区の民生委員や老人会にも出席の声かけをされたい。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。 | 市役所には頻りに訪問し事業所の運営の相談や情報提供などで協力関係を築く様に取り組んでいる。 | 社会福祉協議会の活動とも連動して、協力関係も築かれている。土曜日にも拘らず市の職員が運営推進会議に出席下さり、助言なども頂いている。 | 事業所は介護保険を使う現場でもある。その点からも、市の職員が実際に事業所に足を運び、実情を見て下さる事は大変有意義である。今後も連絡を密に協力関係を築いていって頂きたい。 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる | 玄関の施錠はしているが、10時～14時と時間を決め開錠をしている。入居者が出かけたい時は、職員と共に出かけるようにしている。1階・2階へのフロア移動は自由である。 | 散歩や掃除の時間帯は玄関を開けているが、入居間もない入居者がいる場合はその限りではない。1階から2階での行き来は自由に行なわれている。 | なぜ鍵をかけるのが身体拘束にあたるのか…など、直接身体に及ぼす事だけが身体拘束ではないという認識を、具体例を交えながら職員全員で今一度再確認されたい。 |
| 7 | | ○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止などの研修は1人でも多くの職員に参加してもらい虐待防止を正しく理解していただき、支援に虐待が無いように注意を払い防止に努めている。 | | |

| | | | | |
|----|--|---|--|---|
| 8 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p> | <p>これらの制度の研修には職員積極的に参加し必要な利用者にはご家族などで話し合い、それらを活用できるように支援している。</p> | | |
| 9 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>ご家族様と話し合い契約時・解約時には説明する時間をとって頂いて十分に説明を行っている。重度化に伴う機器などの経済的な不安、報酬加算の必要性の説明や料金改正の理由時等、その都度ご家族様に個別に丁寧に説明を行いご理解いただけるよう話し合いを重ねています。</p> | | |
| 10 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ホーム玄関に意見箱を設置しています。入居者1人々の個人ファイルにご意見表をつけ、ご家族様や入居者の意見を記入して載せています。それに対してホームで話し合った結果、返事も付けさせていただきそれを職員全員が周知できるようにしています。声が少ないご家族様の声を逃さないようにしています。</p> | <p>「意見箱」を設置しているが、今の所投書はない。意見や要望は、直接口頭でのやりとりの他個人ファイルの「ご意見表」への記入による。入居者に対し、職員を担当制にし、よりきめ細やかな支援体制に整えている。運営推進会議には、1年毎の輪番制にて入居者とその家族1組が出席し、意見や要望を述べている。</p> | <p>普段から入居者や家族との関係を大切にし、意見や要望の出し易い雰囲気作りに気を配りたい。入居者の誕生日に家族を招待し食事をもてなす催しは、和やかな関係作りを生み出していると思う。</p> |
| 11 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p> | <p>定例のスタッフ会議での業務の改善事項や課題について話し合い職員の意見や提案を聞く機会を設けています。年に1度職員面談があり意見や提案を聞けるような環境づくりをしています。研修会参加や資格取得の支援もしています。</p> | <p>年1回の個人面談時に、職員に「自己改善点検シート」を記入してもらい面接を行なっている。その時に、自己評価をつけてもらう他意見や要望なども記入してもらい、面談の材料としている。</p> | <p>自己評価をする事により、職員も日頃の自分を振り返る事ができる。職員の意見や提案を反映させ、一体となって質の高いホームを作り上げていって頂きたい。</p> |
| 12 | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>年に1回は職員のストレス発散の場を設けています。各自が向上心を持って働けるように希望の出勤日や日数や希望の休みをほぼ取り入れ勤務表を作成しています。職員個々の悩みも対処できる時間を管理者は設けています。</p> | | |
| 13 | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>事業所内、外の研修などをし職員が働きながら技術や知識を身につけていき職員全員がスキルアップを図る育成に努めています。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>3か月に1回GH会議がありそこで研修や勉強会や同業者との交流や意見交換をしている。H22にはGHの見学会を行い職員全員見学させていただきました。同業者の施設を見学させてもらう事により職員も日々サービス向上につながっている。</p> | | |

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

| | | | | |
|----|--|---|---|--|
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入居までに数回ご本人様と話しあう機会を設けていただき、入居者に関して要望や不安などをできるだけ聞き安心して、入居していただけるように努めています。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>ご家族様がホームを見に来てくださることによって理念や雰囲気を理解していただき、その時にご家族様と話しあう機会を設け十分に説明させていただいています。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人様・ご家族様より情報を聞き今何が必要なのかを職員と共に話し合える限り今までの在宅生活に近づく様な支援をしています。</p> | | |
| 18 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は入居者の想いに少しでも寄り添い同じものを見て一緒に共感していく事で信頼関係が気づいていけるように努めている。</p> | | |
| 19 | <p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>ホーム側がなんでも行うのではなく、常にご家族様と相談してご協力を戴きながら入居者がよりよく過ごせるのかを考え支援しています。</p> | | |
| 20 | <p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>地域のボランティアさんが毎月ホームに来ていただいています。入居者から希望があればなじみの場所に出かけるよう支援しています。マージャン相手に会いにデイサービスにいかれたり、ご家族様に電話をしたりお手紙をだすのを支援させていただいています。</p> | <p>以前住んでいた自宅付近に散歩に出掛けたり、家族に出す手紙を投函しに行くなど、入居者毎に支援を続けている。</p> | <p>今後も、入居者毎に馴染みの人や場所との途切れない関係継続の支援をお願いします。</p> |
| 21 | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>1階・2階の入居者が自由にフロアを行ききすることで入居者同士の交流を深められるように玄関掃除とおしながき作り当番を入居者同志で関わり支え合うような支援に努めています。</p> | | |
| 22 | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>契約が終了しても相談に乗らせていただいたり、職員が退去された方に会いにいたりするなど関係を大切にしている。</p> | | |

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | | | | |
|----|----|--|--|---|--|
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中でコミュニケーションをとることによってより希望、意見、要望をきいたり、ご家族様から趣味、生活歴を聞き入居者に喜んで過ごしていただくようカンファレンスで話し合い本人本位に無理を押し通さないようにしています。 | 入居者との会話を大事にし、思いや意向の把握に努めている。が、職員には技量の差もあると管理者は感じている。 | 心に添う支援で、入居者の思いや意向の把握に努めていって頂きたいと思う。また、現在の思っただけでなく将来の暮らし方なども掴んでおきたい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める | ご家族様や本人さんから聞いた話などを元にしてこれからのサービス利用につながるよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 1人ひとりの心身の状態や出来る力、わかる力を職員間で話し合いその日の体調に合わせて支援するように努めています。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人がよりよく暮らせる様にご家族様と話し合い、その後ケアのあり方等カンファレンスで意見交換を行い介護の現場で実践できるような介護計画を作成している。介護記録ファイルに介護計画とモニタリング表をいれ職員間で情報の共有をしています。 | 見直し期間は短期3ヶ月・長期6ヶ月とし、計画書には家族にも目を通して頂き、確認印も貰っている。職員間で意見交換も行なわれ、入居者に即した介護計画作成がなされている。 | モニタリングの実施に於いて、サービス担当者会議に家族の参加を求め、参加が得られない場合は、来訪時や便りまたは「ご意見表」で希望を聞いて、医師の意見とも合わせて現状に即した介護計画を作成している。今後ともきめ細かい計画作成の継続をお願いする。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 食事量・血圧・体温・水分量等、毎日個人記録を記入して、各自出勤前には目を通し情報を共有しケアに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人・ご家族様の状況に応じて個々にあった、かかりつけ医に通院、往診していただいている。又、緊急時にも付き添い出来る限りご本人・ご家族様への負担を減らせるよう早期退院の支援など迅速に行っている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議の時に得た情報や散歩で聞いた情報をもとに花見や地域の夏祭り、餅つきなどに参加しています。郵便局に、はがきや切手、お花屋さんには花など本人のご希望の物を買に行ったりしています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームに入られる前のかかりつけ医の希望のある方はご家族様と相談の上、かかりつけ医にいただいている。 | かかりつけ医を家族と相談の上、希望する入居者のみ新しい提携先医院への移行を勧めている。協力医療機関に24時間対応が可能である医院を増やし、精神科の経験のある医師に高齢者の精神上のケアの対応に備えている。 | 入居者の更なる高齢化に備え、医療・家族・ホームのよりよい関係の構築を願う。 |

| | | | | |
|----|---|---|--|--|
| 31 | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p> | <p>介護している職員は小さな事でも気づいた事を管理者に報告し管理者は医師に相談指示を仰ぎ医療支援を受けている。</p> | | |
| 32 | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>ご家族様とご相談の上、早期退院に向けて話し合いをしている。入院時担当看護師に会い主治医からの情報を得ています又、ご家族様とも常に連絡を取りあっています。</p> | | |
| 33 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>ホームでの看取りの実績はありませんが、入居者が重度化した場合は可能な限りホームでの生活が継続できるようご家族様とご相談の上支援させていただいています。</p> | <p>重要事項説明書に看取りをすることを明記している。そのことで看取り加算もできることを交野市にも確認している。</p> | <p>終末看取り介護を視野に入れて職員体制も整えていくことにしている。急な体調変化を想定し、入居者本人や家族からいかなる終末介護を望むのかを聞き記録も残し、家族の確認印も貰っておくことが望ましい。</p> |
| 34 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>ヒヤリハットをもとにその都度日々業務の中で実践力を身につけていけるよう対応支援している。</p> | | |
| 35 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>災害に備えるマニュアルを作成し年に2回避難訓練の実施をしている。そのうち1回は消防署の指導のもとに行っています。ご近所の方にはホームで作成した緊急災害時ご協力シートを配布しました。</p> | <p>自主訓練を年2回実施しその時は近所にも知らせている。夜間を想定した避難訓練を5月にする予定である。風水害は藤が尾小学校、震災時には星田小学校が広域避難場所であることは家族にも伝えている。</p> | <p>スプリンクラー、緊急通報装置の設置は完了した。備蓄品は一部調っているが、まだ出来ない物もある。これから精査して整えていく予定である。</p> |

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | |
|----|----|--|--|---|--|
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>入居者一人ひとり人生の先輩として尊敬し、誇りやプライバシーを損ねないよう職員の言葉遣いは、常に教育している。職員採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面をとりかわしています。</p> | <p>入居者の心に寄り添うと言うことはどういうことか、決め付けた言葉遣いをしないことを常々職員には周知している。気が付いたときは職員の人格尊重を考え、個別に呼んで注意している。</p> | <p>尊厳を守ると言うことは入居者にいやな思い、恥ずかしい思いを感じさせないことである。入居者の生きてこられた人生を尊重することが根底にある。全ての職員の研鑽を期待する。</p> |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>今まで生活の延長線上でできる畑の手入れや玄関掃除や食器洗い等職員が寄り添い支援する事で入居者の思いや希望を表出、自己決定できるように働きかけています。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>入居者のその日の体調や思いを把握しながら支援している。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p> | <p>夏祭りには浴衣を着るなどその場に合った服装をして外出することもあります。外出時は着替えたい方は着替えていただき、好みに合わせた服装を着ていただいている。居室に鏡台や化粧品やくしを持ち込まれている方もその都度対応させていただいています。行事のときはお化粧品を戴いています。</p> | | |
| 40 | 15 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事は入居者の希望を聞いたメニューで入居者の嗜好に応じて別の献立を用意するなどしている。入居者は買い物や(アキラ菜園)で収穫した野菜を下ごしらえ、食事準備、後片付けなどのそれぞれの得意な分野で参加されています。職員は入居者と一緒に食べながら食事に関するサポートをしたり楽しい会話やなごやかな雰囲気づくりをしています。入居者の誕生日にはご家族様と一緒にホームで食べたり外食されたりします。</p> | <p>食事は1階の厨房で調理を主に担当する職員が作っている。味付けなど入居者には好評で家庭的である。食材の購入は調理担当者が買って帰ると玄関で入居者が手伝って厨房まで運ぶ。野菜の皮むきなども殆どの入居者が楽しく分担している。職員も同じ食事を入居者と共に食べながら見守り、食事介助もしている。</p> | <p>食事の準備も競い合っているようにいきいきとした様子で手伝うと管理者の話である。入居者全員で作った食事と言うことでもあるからか食欲は旺盛である。「アキラ菜園」は道を隔てた向かいに有り、車椅子の入居者も一緒に出かける。調理担当者が休みのときはケアマネジャーや職員が作る。入居者の誕生日に家族がホームと一緒に食事をする企画は食事の楽しさを増すものとなっている。</p> |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p> | <p>脱水症状にならないように年間通して水分摂取量を記録しています。一人分の食事量や歯牙の状態を把握してその方に合った食べ物をお出ししている。ある方は食器を白に統一する事で食事での混乱をさけ全量摂取して戴けるように心がけています。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>口腔ケアは毎食後職員と一緒にやっている。その都度異変があればかかりつけの医師に受診している。定期的に訪問歯科も利用しその都度状況に応じて診ていただいている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>排泄の記録を取ることでその人の排泄パターンや習慣をつかみできるだけ布パンツを着用できるように支援している。車椅子の方はその時の状態をみてトイレでの排泄を支援している。</p> | <p>排泄の自立に向け、リハビリパンツ、オムツを夏場外すことに5～6名挑み、一人を除いて自立に成功した。</p> | <p>退院後バルーンになっていた入居者が看護師の指導監督の下、日中のみ袋を外すことが出来たなど、排泄の自立支援に様々な努力をしている。今後とも根気よく排泄の自立支援の継続を期待する。</p> |

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| 44 | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>毎朝の申し送りですと一人の排便状況や水分摂取量や運動状況などを把握し便秘の場合には医師にご相談することで便秘予防に努めている。</p> | | |
| 45 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>曜日や時間は決まっているが本人の希望やタイミング(湯や浴室の温度)を合わせ入浴を楽しんでいただいている。入居者の希望があれば毎日でも入浴できます。入浴を好まない方にも楽しんでいただけるように職員一同日々工夫をしています。</p> | <p>入浴日は一応月水金と決めているが、入りたがらない入居者にも週2回を目安に支援している。普通浴の出来ない入居者には夏場はシャワー浴、冬は清拭をする。介護保険内で他事業所の機械浴が利用できないかと管理者は調べてみたが現在の法令では利用できない。清拭では衛生上の問題と、本人のリラックス感は味わえない。</p> | <p>国の方針でグループホーム内看取り介護を薦める方向に転向しつつある現在、普通浴しかないグループホームの重度化入居者が介護保険内での他事業所機械浴利用の方策を行政も打ち出していきたい。</p> |
| 46 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>毎日散歩やラジオ体操して体を動かしたり、天気のいい日にはシーツの洗濯やお布団を干す事やお昼寝1時間でも横になっていただくことで安眠できるように支援しています。</p> | | |
| 47 | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>職員が薬についての用法・用量・目的や副作用を理解するよう各個人のファイルにはさんでおり入居者に異変があれば迅速に医療機関に相談している。</p> | | |
| 48 | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>畑仕事・裁縫・編み物・塗り絵・歌・音楽鑑賞・体操・家事(食器洗い・お盆拭き等)・玄関掃除当番など個人に応じた役割や趣味をいかせるようホームで支援している。デイケアにいかれる方はホーム以外での他者との交流などをして気分転換していただいている。</p> | | |
| 49 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p> | <p>緑に恵まれたのどかな住宅街で近くに小学校もあり、日常的に天気のいい日には散歩をしています。地域の夏祭りや運動会など入居者の要望に応じて積極的に参加しています。大型スーパーに買い物にも出かけることもあります。ホーム便りでのお知らせ、協力参加をお願いします。</p> | <p>散歩は良く出かけている。近所の散策、子どもたちのいる小学校、妙見山の桜、コスモス、夏は夏祭りで盆踊りや子ども太鼓など散歩コースは色々有る。</p> | <p>広い道は通っているが、静かな住宅地で高いビルは見かけない地域である。散歩は身体機能の鍛錬だけでなく、季節の移ろいを感じて五感の刺激になる。更なる支援の継続を願う。</p> |
| 50 | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>お金を所持していただきコンビニやお店での支払いを支援しています。</p> | | |
| 51 | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>郵便局に入居者と出かけはがきや切手を購入し自分の思いをはがき書きたり散歩で職員と一緒にポストに投函する。返事を楽しみにされる入居者の方もいらっしゃいます。本人の申し出によりホームからご友人・ご家族にお電話される方もおられます。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居者の健康、精神状態を日々うかがいながら表情が穏やかに保てるようテレビ・ラジオ・CDの音量や内容に気を配りエアコン・加湿器・温度計を設置して居心地良く過ごせるよう職員同士で話し合いながら工夫している。又季節感を味わっていただけるように入居者とともに歌などを口ずさみながら壁画の配色にも気をつけ、行事制作をしたり飾り付けしたりしている。職員の声のトーン又言葉遣い（優しく、はっきり、ゆっくり等）を語りかけるよう心がけています。個々に合わせ置が必要なたには置を置くようにし心地よく過ごせられるような工夫をしている。</p> | <p>リビングには皆で作った貼り絵が飾られていた。棚には雑誌や本も並んでいる。喉の保護のため加湿器を使用している。食事以外でも皆リビングでおしゃべりしたり、野菜の皮むき、豆の筋取り、洗濯物畳みなど、居室から出てリビングに集まっている。このように、入居者は食事時間以外も居室にることなくリビングに出て集まっていることが多い。少し広くなっている廊下でゲームをする時もある。トイレは段差がかなりあるが、現在は入居者は段差に対応できている。</p> | <p>整然と整っているリビングではないが、家庭的といえる。トイレは段差があり、高齢の入居者はそのうちトイレの段差に対応できない時期もやってくることは如実である。今から対策を考えられたい。風呂は個浴であり現在は入居者は介助を得つつ入浴できている。1階の浴室は窓がないので浴槽乾燥装置で乾燥している。1階2階とも浴槽乾燥装置設置済みであり今後共衛生面からしっかり乾燥していただきたい。</p> |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>自由に1階・2階を行き来できリビングや自室廊下のソファなどで入居者の方思い思いに気の合った仲間と過ごされています。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居者の自室は本人の希望のもとなじみの家具や使ってきた調度品などをご家族様と相談し居室に置いていただいている。思いを伝えられない入居者の方にはご家族様来訪時にご家庭で過ごされていた様子など又使用していた家具などを持ってきていただきできるだけ家庭とホームの違和感がないように配慮しています。</p> | <p>居室は広さ、形が全部違って、個性的になっている。家賃は部屋の広さに応じて変えている。趣味の物を持ち込んでいる部屋、殺風景なくらい物を置いてない部屋と入居者によりそれぞれである。居室の掃除は入居者が職員と一緒にして清潔に保たれている。</p> | <p>居室の窓は出窓になっていて趣のある部屋になっている。友人が来たら座って貰うために肘掛け椅子を職員と買いに行き置いた入居者もいる。ベッド、チェストなどは各自持込みである。日時認識後退防止のため、カレンダーは年初めにホームから、時計は家族とホームから全居室に設置している。</p> |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>今まで過ごされてきた生活歴などを把握し何が出来るか又何に興味があるかを観察して出来る事がなくても職員がともに引き掃除、洗濯、整理整頓、シーツの付け外し、洗濯物干し又名前を見ながら衣類を分類する。入浴準備、食事の片づけ、買い物、調理の準備、季節の壁画装飾づくり飾り付けその方のできる事興味のある事に参加していただいている。全員同じ事を強制的にさせることはしないよう、やりたいという気持ちを大切に支援している。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている | ○ | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない |
| 66 | 職員は生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 68 | 職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない |